

名谷図書館

項目	提出書類及び評価項目	評価のポイント	配点
1 申請者に関する項目 10点	法人等の財務状況に関する書類、定款、寄付行為、規約、設立趣意書、事業内容、パンフレット、事業実績の概要、障害者雇用への取り組み（10点）	・経営状況が良好で長期にわたり安定的な管理運営を行う財政的基盤を有しているか。または、確保できる見込みがあるか。※1	5
		・図書館業務の運営実績があるか。	4
		・障害者雇用への取り組みがなされているか。	1
2 応募者の活動拠点に関する項目 10点	①神戸市内に活動拠点（本社、営業拠点があるか（6点）	・図書館の主幹業務を担う企業の本社が神戸市内にあるか。 ※主幹業務とは図書館の窓口業務（応対・貸本返本業務・レファレンス業務等）をいう。	6
		（主幹業務を担う企業以外の企業の本社が神戸市内にある）	（4）
		（本社以外の活動拠点が神戸市内にある）	（2）
		（活動拠点が神戸市内にない）	（0）
	②地域経済の活性化への提案があるか（4点）	市内企業等の積極的な活用等、地域経済の活性化への提案があるか。	4
3 事業運営に関する項目 30点	①公立図書館業務についての基本的考え方（様式9-1） ・運営の基本方針 ・地域への理解と地域図書館の役割（7点）	・図書館運営についての理念及び設置目的、図書館法や「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の内容を十分理解しているか。	3
		・中央図書館と地域図書館の機能・役割の違いを理解するとともに、神戸市立図書館全体のサービスのバランスを視野に入れた考え方をしているか。	2
		・区の特性や立地条件を理解し、区の図書館として何が求められているかを理解しているか。	2
	②体制と人員配置（様式9-2） ・組織体制、人員配置計画 ・市内団体・人材の活用等（11点）	・神戸市が求める水準のサービスを、安定して供給できる組織体制、人員配置であるか。	7
		・自動化機器（自動貸出機・予約図書受取棚・自動返却機）の活用について有効な工夫ができているか。	2
		・市内の団体・人材の活用等で地域経済の活性化は考慮されているか。	2
	③資質向上策（様式9-2） ・採用指針と専門性確保 ・職員の質の向上のための研修 ・人材育成年次計画（6点）	・スタッフ採用の指針が明確・適正であるとともに、専門性の確保の方策は適切であるか。	2
		・職員の資質向上のための教育、研修計画は十分、かつ具体的で実施可能なものか。	2
		・スタッフの経験年数やスキルに応じた適切な人材育成計画であるか。	2
	④施設の良好な施設環境の保持、安全管理にかかる方策（様式9-2） ・良好な施設環境保持 ・安全対策、危機管理体制 ・緊急事態への対応 ・施設の維持管理等（6点）	・館内美化等利用者が利用しやすい良好な施設環境を保持する方策が、講じられているか。	2
		・日常の事故防止など利用者安全対策や事故発生時の危機管理体制、防犯、防火対策は十分講じられているか。 ・時間外及び休館日の緊急連絡体制及び緊急時の対応は適切か。	2
		・施設の維持管理、設備、保守点検業務の実施方法は適切か。 ・合築施設（図書館・地下原付駐車場・交通ロータリー）として利用者がスムーズに利用できるための工夫（警備・案内等）は適切か。	2

サービス内容に関する項目 30点	①業務内容の把握（様式9-3） （3点）	・館長業務、窓口業務や蔵書管理業務など各業務の目的、内容を細部にわたって理解できているか。	3
	②読書奨励と地域連携（子供サービス以外）の考え方（様式9-3） ・読書奨励・課題解決 ・高齢者、障害者、外国人等 ・地域や団体等との連携 （6点）	・読書奨励や課題解決支援の考え方は適切で、企画に創意・工夫があるか。高齢者・子育て世代・ヤングアダルト等、様々な世代の地域住民に対する読書奨励の考え方は適切であるか。障害者や外国人に対するサービスはあるか。継続事業や代替事業の計画において、サービスの意図は明確か。 ・少ない経費で効果的に行事を実施するための有効な工夫ができているか。	3
		・地域や団体等との連携事業の計画は、地域性を考慮した具体的かつ実現可能なものか。	3
	③子供サービスの考え方（様式9-3） ・子供読書活動推進業務に対する考え方と具体的事業計画 ・学校や地域、団体との連携事業 （6点）	・子供読書活動推進業務に対する考え方は適切で、具体的かつ継続的な事業計画がなされているか。来館する子供へのサービス計画はあるか。 ・少ない経費で効果的に行事を実施するための有効な工夫ができているか。	3
		・学校や地域、団体との連携事業の計画は、施設の機能や地域性を考慮した具体的かつ継続的なものか。	3
	④サービス向上、利用促進方策 （様式9-3, 4） ・利用促進や利用者満足度向上 ・苦情・要望等への対応 ・指定期間の年次事業計画 （11点）	・利用促進や利用者満足度向上についての考え方は適切か。事業者の創意・工夫はあるか。	3
		・苦情・要望等への対応体制やPDCAサイクルによるサービス向上策が講じられているか。	3
		・指定期間を通して年次計画が事業内容、投資計画ともに具体的かつ実現可能であるか。	3
		・提案された自主事業は魅力的で、現実的に実施可能なものか。	2
	⑤個人情報保護（様式9-3） ・個人情報保護、プライバシー保護に対する考え方 ・情報セキュリティ対策（4点）	・利用者の個人情報保護、利用者のプライバシー保護についての理解は（例えば「図書館の自由に関する宣言」）に書かれていることへの理解）は十分か。	2
		・情報セキュリティへの対策は十分取られているか。	2
20. 収支計画 点	①経費削減に関する独自の提案 様式10 （5点）	・経費低減のための提案は、具体性が高く、実現可能性があるか。	5
	②管理運営に係る収支予算書 様式10 （15点）	・管理運営に係る経費（提案額）の比較※2	7
		・事業計画書との整合性はとれているか	8

※1 図書館の主幹業務を担う企業について、直近過去4年の決算の平均において、自己資本比率40%以上、固定長期適合率100%以下、流動比率100%以上の場合は「5点」。いずれかに適合しない場合は「0点」

※2 7点満点とし、7点×提案金額の内最低の金額 / 提案金額（小数点第2位以下切り捨て）